



豊岡は、人口規模は小さくても、世界の人々から尊敬され
尊重されるまち「小さな世界都市・Local & Global City」
を目指し、着実に、その歩みを進めています。しかし、人口
減少が私たちの日常を脅かしています。
人口減少の要因の一つは、若者の社会減です。豊岡を出た
若者が帰ってこない。なぜ、帰ってこないのか。
今回の特集では、豊岡での豊かな暮らしとやりがいのある
仕事を紹介することで、豊岡に暮らす価値を考えます。
実は、豊岡は世界基準で見ても面白い！
豊岡に居ながらにして、豊岡と世界とを結ぶ架け橋になり
ませんか。

《問合せ》秘書広報課 ☎21-9035

特集

豊岡で世界との架け橋になる選択

■減り続ける人口

豊岡の人口は、合併した2005年に8万9208人だったものが、2015年には8万2250人に減少しました(国勢調査)。この10年間で約7千人の減少です。

今後は、減少のペースを加速し、2040年には5万7608人になると推計されています(豊岡市人口ビジョン)。コミュニティの崩壊、公共交通網の減退、地域経済の衰退など、今起きているさまざまな課題が、この人口減少から起きています。

■人口減少の要因

人口減少の要因は、はっきりしています。若者の社会減と未婚率の上昇です。

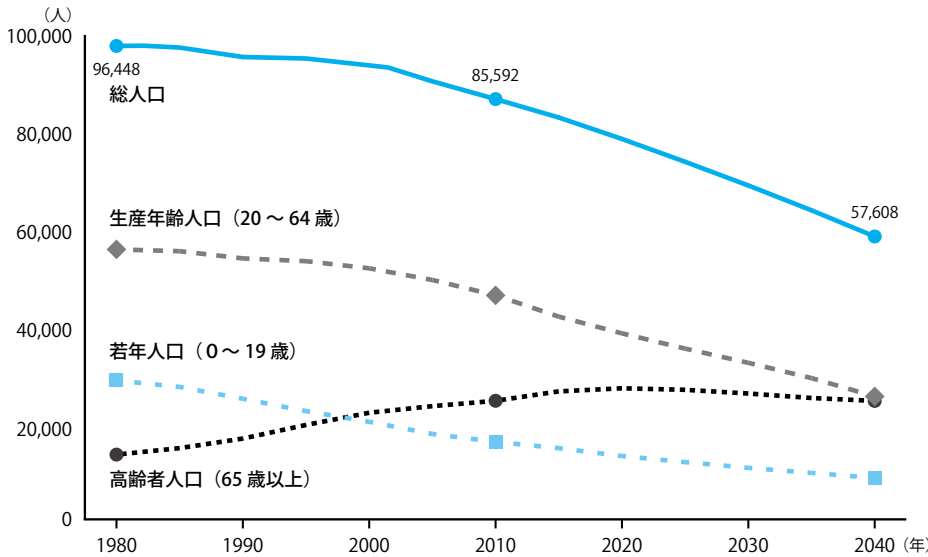
豊岡の人口移動は、ほとんどの年齢層で転入・転出の数がほぼ均衡していますが、10代で大幅な転出超過が起きています。特に高校卒業時には、約8割の若者が豊岡を離れます。20代では大幅な転入超過になりますが、10代で失われ

た人口の約4割しか帰ってきません(2015年国勢調査から分析)。

結果、出産適齢期の夫婦の数が減少します。実は、夫婦一組当たりの子どもの数は増えています。しかし、夫婦の

数の減り方が大きいため、生まれてくる子どもの数が減少します。その生まれてきた子どもたちが大学等に進む段階でまた転出超過になる、その悪循環の中で、豊岡の人口は減少しています。

豊岡市の総人口と年齢3区分別人口の推移(1980~2040年)



(出展) 1980~2010年は総務省統計局「国勢調査」、2015年以降は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局提供人口推計ワークシート(CD-ROM)から作成した本市基準推計(2015年10月発表)